

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	半年毎に部門目標をあげ、毎年度 理念・目標を策定している		近所の方たちと親睦を持つ機会を増やし、地域に馴染んだホームにしていきたい
2 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	「ゆっくり・いっしょに・楽しく・豊かに」をモットーに取り組んでいる。理念については玄関やスタッフルームの見やすい所に掲示している		ミーティングやカンファレンスなどで話し合い、熱意を持ってより良いサービスの提供に努めている
3 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	ご家族には法人冊子を配布するなど取り組んでいるが、地域には消極的になっている		地域に対しても働きかけ、開放されたホームを目指す
2. 地域との支えあい			
4 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	天気の良い日には散歩に出掛けており、笑顔で挨拶をしているが、日常的な付き合いまでには至っていない		もっと地域に開放されたホームになるよう働きかけたい
5 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	町内会の行事、老人会の誘いには参加できるよう努めている		老人会・行事等の活動にはできる限り参加し、交流する機会を増やしていきたい
6 事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	地域の高齢者の為に何かを取り組むという機会は持っていない		今後はホームだけでなく、地域全体のことを考えていく必要がある

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	<p>評価結果を活かし、ケアサービスの質の向上に努める。ミーティングやカンファレンスなどにて確認し、改善に取り組んでいる</p>	<p>勉強会の内容の充実を検討する。ミーティング・カンファレンスで確認し合う</p>
8	<p>運営推進介護を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>運営推進会議への参加をご家族の方にも声かけ、参加・協力していただいている。ご家族からの意見を聞く、貴重な場となっている</p>	<p>定期的開催することで、ご家族からの意見内容を把握し、サービスの向上に努め、改善に取り組む</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>事業所の実情・取組み状況を報告している</p>	<p>今後も継続し、市町村との連携を深めていきたい</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修以外で学ぶ機会はない。現在 活用する対象の方はおらず、活用はしていない</p>	<p>スタッフ全員が制度を理解できるよう学ぶ機会を設けることが必要</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>利用者に対するケアをカンファレンスで確認し統一しており、虐待防止は徹底している</p>	<p>専門職としての自覚をもち、虐待防止の徹底を継続する</p>
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>理解・納得できるよう ご家族に十分な説明や文書にて了承を得ている。契約に基づいており、決定過程が明確であり、納得のいく支援と体制がある</p>	<p>理解・納得できるよう説明し・了承を得たことは文書に記する</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見・不満・苦情があった場合は、内容によっては検討・対応している		継続していきたい
14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	御家族と連携をとっており、協力・報告が十分出来る体制にある。金銭管理も定期的に出納を明らかに出来る体制にある。年末には1年分の領収書をお返している		定期的に報告、情報を共有することを検討する
15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	機会があるごとに窓口を伝えている。意見箱も設置している		ご家族を交えたケースカンファレンス等も行い、意見しやすい環境を作っていきたい
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティングやカンファレンスにてホーム運営やケアについて話し合っている		質の良いサービスの向上に取り組み、より良いサービスの提供に努める
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	生活の流れを支援するため、これに即した勤務ローテーションが組まれている。しかし、職員人数の関係で 十分ではないこともある		入居者の生活に合わせたローテーション体制が取れるよう、人数にも余裕を持ちたい
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	馴染みの関係の重要性は理解しているが、退職等で入れ替わりが度々ある状態。代わる際は利用者へのダメージを最小限に抑えられるよう、入居者には伝ええない等の配慮を行っている		長期に渡ってスタッフが固定されるということが少ないため、状況に合わせた対応を継続

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>研修会に参加する機会を設けたり、研修報告会を開いて職員間で内容を共有している。又、簡単な勉強会を開く等して、気軽に学ぶ機会を設けている</p>	<p>継続していく</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>区の連絡会・会議などに参加し、ネットワーク作りに取り組んでいる(ホーム長)。研修会や学習会に参加した際に、情報・意見の交換を行っている</p>	<p>継続していきたい</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>管理者は常時、職員の相談を受け付ける体制をとり、ストレス解消に役立っている</p>	<p>もっと気軽に話し合える関係を築けると更に良い</p>
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>職能評価し、職員の資格取得に対し支援している。又、管理者は能力の高いスタッフには昇格できるよう働きかけているが、結果に結びつかないことが多い</p>	<p>上層部が、スタッフの努力や実績をもっと認めてくれる体制に変わって欲しい</p>
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>事前面談でご本人を訪ね、生活状況やニーズについて情報収集し、信頼関係を作る努力をしている</p>	<p>現在の状態を継続していく</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>ご家族との面談に十分時間をとり、希望を聞いたり相談にのっている</p>	<p>現在の状態を継続しおしていく</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人や家族と話し合いを重ねながらケアの方向を検討している。色々な状況によるサービスについてもご案内している		利用者がより良いサービスを受けられるよう、継続していく
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	ご家族には必ず施設見学をしていただき、職員も面談でご本人と顔馴染みになって、親近感を持っていただいている。施設内の環境はご本人にあわせ、整えてから自然な雰囲気でご入居していただいている		入居後も、御家族の面会を多くしていただいたり、ご本人に関する情報収集に努め、意向に合わせ状況を修正していく
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	寄り添って過ごすことで、共に生き、支えあう関係を築けるよう努めている		現状以上に親身に寄り添い、最良の関係を築けるよう努めたい
28	本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	御家族来訪時に利用者の様子を伝え、情報交換に努めている。日常、ご本人の希望が叶うよう、御家族と協力している		現状以上にご家族と意見交換を深めることで、色々な感情を共有し、スタッフも家族の一員となり利用者を支えていきたい
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	ご本人の生活暦等でご家族から情報提供していただき、また、ご本人の様子をお伝えしている。誕生日や行事への参加を募ったり、外出や外泊の機会を作っていただくことを勧めている		継続していきたい
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	御家族と相談しながら、可能な面で支援している		ご家族によっては途切れがちの方もいるため、こちらから積極的に関わっていきたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	日常の利用者間様子は職員が情報を共有し、利用者同士が良好な関係を維持できるように常時見守り、関わっている		必要時には仲介を行いながら利用者同士が楽しんで生活できるよう支援を継続
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	サービス利用終了後も必要に応じて訪問したり、連絡をとっている		今後も継続していきたい
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常の様子や会話からご本人の希望・意向を読み取り、それが実現する方向へ支援できるよう努めている。困難なときはご家族に相談して検討している		スタッフ本位になってしまうこともあるため、「本人本位」を尊重したい
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	センター方式も活用しながら、ご本人や家族からの情報収集に努めている		継続し、過去の暮らしを大切にしたいケアを行っていきたい
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	日常の生活の様子観察を行い、職員間で情報を共有し現状把握をより良いものにするため、申し送りやカンファレンスでも話し合っている		継続していく
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	本人の意向・ご家族の意向を確認し、一人一人に沿った介護計画を作成している		継続していく

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	3ヶ月ごとに見直しを行い、それ以前に変化があった場合は皆で話し合い、都度ケアプランの内容を状況に合わせて変更している		継続していく
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに生かしている。	日々の様子や気づきを記録に残し、カンファレンス等で話し合い、計画の見直しを行っている		継続していく
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	入居者やご家族の状況により車を用意したり対応している		現在はショートステイの受け入れは出来ていないが、今後研修に参加しショートステイ受け入れについても検討していきたい
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	町内会活動への参加、講習会や査察を通しての消防署との関わり等を行っている		ボランティア導入・地域資源の活用は今後の課題
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	同一建物内の他事業所(認知症対応型通所)と合同行事を行ったり、行き来する等している		現状以上に活性化させていきたい
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	特に動いていない		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	かかりつけ医と相談しながら健康管理を行っている。2回/月 訪問診察を受けている。又、医療機関を受診する際、ご家族もしくはスタッフが付き添い、必ず添書を用意し口頭だけでなく文書で必要な情報を伝達している		定期的に訪問診察を受けている。もっと協力的なかかりつけ医が欲しい
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	定期的に訪問診察を受けている。必要時はその他の利用者についても相談		認知症に詳しく理解のあるDrを見つけない
45 看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	看護職がおり支援している		小さな変化でも看護職に相談し、対応していく
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	病院関係者との情報交換は蜜に行い、受け入れに向けて必要な指導も受けるなど 連携は取れている		今後も良好な関係を築き、利用者を支えあっていきたい
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	まだ方針ははっきりと決まっていない。常にDr. やご家族と話し合い、その上でスタッフ全員で話し合っている		今後、より細やかな方針を取り決め、個々のケースについての検討を行うことが必要
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	チームとして情報を共有し、出来る限りのことは取り組んでいる		継続していく

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
49 住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	住み替え時には、添書に自分たちが知り得た情報・思いをすべて記入しお渡ししている		今後も継続していきたい
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	一人一人のプライバシーを守れるよう声のかけ方・記録物の扱いにも留意しているが、十分でないこともある		各々が注意し合い、適切な言葉かけ、記録等の管理が行えるよう徹底していく
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	出来るだけ自分で決めたり、納得できるよう個別にゆっくりに対応している		状況にあわせて居室にて個別の対応を行っている。本人の思いに沿って自己決定を促す対応を深めていきたい
52 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	なるべくその人のペースに合わせ、生活していただけるよう努力しているが、業務優先になってしまうこともある		利用者第一の意識をスタッフ間で共有する
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、利用・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	本人の望む店へ行くことは、ご家族に対応していただいている。行えない方には 訪問美容で対応している		服についても着れば良いだけでなく、綺麗に心が豊かになるようにおしゃれ支援をしていきたい
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしているか。	調理作業はスタッフが主に行っているが、献立を一緒に考えたり、片付け作業は利用者の力を借りている。団樂の時間を大切に、楽しみながら食事できるよう努めている		継続して対応していきたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	飲酒・喫煙をする利用者はいない。おやつや飲み物については、本人の健康状態等に合わせて提供し満足していただけるよう支援している		今後、喫煙・飲酒をする入居者が入った場合は、対応を検討する
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	個々のパターンを把握し、誘導などで失敗を減らし、自信喪失につながらないように対応している		デリケートな問題であるため、対応は継続・徹底していきたい
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	安全確保のため、主に午後のスタッフ人数の多い時間帯での入浴を行っているが、希望や状況に合わせて入浴できるよう支援している		継続して対応していく
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	入居者一人一人の状況に合わせて、休んでいただけるよう支援している。不穏な状態の時は、付き添い・添い寝をしたり安心できるよう対応している		継続していきたい
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活層や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	家事作業・体操・歌・手作業等、個々が好むことや力を発揮できることを提供し行っていたい。家事作業については、利用者の中で自然と役割分担もなされている		継続して対応していく
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	利用者本人が管理しているケースは少数であり、ほとんどがスタッフ管理となっている		買い物外出等の機会を設け、お金を扱う機会を作りたい
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	現在は、日々の散歩(冬期除く)以外での外出機会は少なくなっている。介護度の重度化・スタッフ人数の確保ができないことから、一人一人の希望に合わせての外出は困難な状態		出来るだけ一人一人の希望を叶えられるよう対応していきたい。スタッフ人数にも余裕が欲しい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが言ってみたく普段はいけな いところに、個別あるいは他の利用者や家 族とともに出かけられる機会をつくり、支援 している。	可能な場合はドライブ・買物等に数人で出かけるようにしている が、介護度の重度化・スタッフ人数の確保ができないことから、一 人一人の希望に合わせての外出は困難な状態		買物・外食・映画等、個別に対応できるよう取り組んでいきたい。ス タッフ人数にも余裕が欲しい
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をし たり、手紙のやり取りができるように支援をし ている。	こちらから電話をかける機会は少ないが、希望に合わせて使用し ていただいている。手紙については、本人が書くことは困難な場合 が多く、行っていないのが現状		出来るだけ希望を満たせるよう 対応していきたい
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人 たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よ く過ごせるよう工夫している。	家族や馴染みの方が、いつでも気軽に訪問できるよう、職員一同 が対応し、温かい雰囲気作りに努めている		更に良好な関係を築くことが必要
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的 な行為」を正しく理解しており、身体拘束を しないケアに取り組んでいる。	身体拘束に関しては極力行わないケアに取り組んでいるが、やむ を得ない場合のみにおいて、ご家族の了承の下 実施している		カンファレンスごとに拘束しないために どうしたらよいか話し合っ ていく
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄 関に鍵をかけることの弊害を理解しており、 鍵をかけないケアに取り組んでいる。	夜間、やむを得ない場合においてのみ施錠することがあるが、基 本的には鍵をかけないケアに取り組んでいる		継続していく
67	利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼 夜通して利用者の所在や様子を把握し、安 全に配慮している。	利用者のストレスにならないよう配慮しながら、所在確認・様子観 察を行っている		継続する
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのでは なく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防 ぐ取り組みをしている。	個人で管理できる入居者には任せているが、管理できない入居者 については、ご家族の協力も得て危険がないよう努めている		ご家族の力を借りながら対応を継続していく

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	利用者個々の状態を考慮し、予想される事故を未然に防ぐことが出来るような様子観察及び、ケアに取り組んでいる		継続していく
70	急変や自己発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	1回/年 救急についての勉強会を実施。症状別対応マニュアルを作成している		応急手当については実施していないため勉強会を行っていきたい
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	スタッフ間での避難訓練は定期的に行っているが、地域住民には働きかけていない		今後の課題である
72	リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	毎月カンファレンスを行い、今後の改善につなぐようにしている。ご家族には、来訪時に状況・リスクを説明し理解・同意を得ている		継続していく

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎日 定時のバイタル測定。日常の様子の変化に注意し記録に残している。変化時は家族に連絡・報告している		継続していく
74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	処方内容がわかるファイルがあり共有している。処方変更後の症状の変化など、見逃さないよう経過観察を行っている		継続していく
75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	食事内容・水分摂取量への気配り。日中、体操等にも心がけている		冬期に入り、運動量が減少してしまうため、室内で出来る体操などに力を入れていきたい
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	起床・就寝前の歯磨き、義歯洗浄を習慣付けている		その他に食後の口腔ケアに力を入れていきたい
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	栄養バランスの取れた献立作り。食事・水分量を記録に残すようにしている。定期的に栄養士の評価も受けている		継続していく
78 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザ予防接種は全員がうけるように、又、手洗い・うがいにも心がけ、来訪者の方にも協力していただいている。最低1日2回手の触れる所(便座・手すり等)の消毒も行っている。定期的な勉強会の開催を行ったり感染マニュアルを作成し周知している。		継続していく
79 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	新鮮な食材の使用。調理用具(まな板・ふきん等)の消毒の徹底		現状以上に徹底していく

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1) 居心地のよい環境づくり			
80 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関先の清掃。建物周りに草花を植え、明るい雰囲気づくりをしている		継続していく
81 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活観や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節に応じた壁飾り等、工夫している。生花・観葉植物も楽しめるように用意している		継続していく
82 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ソファ・椅子・テーブルがあり、和やかにテレビ・音楽・ゲームなど出来るようになってきているが、スペースがなく一人になれる場所の確保は不十分になっている		利用者が快適に過ごせるよう、出来る限りの配慮をしていきたい
83 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居者個人の使い慣れたベット・タンス等の生活用品が持ち込んでいただき、落ち着いて過ごせるように努めているが、中には介護度が重くなり、介護ベッド等を使用している入居者もいるため、場合によっては『自宅』という雰囲気からはかけ離れている方もいる		出来る範囲内で、快適な環境を作れるよう配慮したい
84 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	各居室に温度計・湿度計が設置されており、換気・フロア内の湿度調整にも濡れタオル等用意し、心配りしている		湿度調整用の濡れタオルで、混乱する入居者もいたため、加湿器の使用も検討していく

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	各場所に手摺り等設置し、安全性に気配りしているが不十分	トイレなど手すりの足りない部分もあるため、改善できるよう取り組みたい。又、ハード面だけでなく、見守りや介助等で事故を防げるように現状以上に努めていきたい
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	個人の居室に表札をかけたり、各場所がきちんとわかるよう目印を付けている。日付がわかるようにひめくりのカレンダーがある。わからなくなった時・混乱している時には、スタッフが仲介し対応している	継続していく
87	<p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	草花を植え、水をあげたり、楽しんでいる	継続していく

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんど掴んでいない</p>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない</p>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p>
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<p>ほぼ全ての家族 家族の2 / 3くらい 家族の1 / 3くらい ほとんどできていない</p>
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない</p>

. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働けている</p> <p>ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

心を豊かに楽しく穏やかに暮らせるように『笑い』を大切にされたケアを行っている。